第１０回室戸市統合中学校あり方検討委員会議事録（概要）

日　　時　　令和７年５月２９日（木）１９：００～１９：５０

場　　所　　室戸市役所２階第１会議室

出席委員　　小松伸稔委員長、手島泰副委員長、小松武志委員、萩野慎人委員、
谷渕隆二委員、中屋康一郎委員、北川弘美委員、貝川和嗣委員、
中原洋人委員、上田摩美委員、中村幸奨委員、杉本優委員、
作田将基委員、勝田真也委員、岡田茂委員、井口司委員、
京田ひとみ委員、町田幸寛委員、森岡美和委員　計１９名
欠席委員　　松尾拓哉委員、松吉由季委員、黒岩文弥委員、西本啓純委員、
石建結香委員　　計５名
事 務 局　　百田教育長、松下教育次長兼学校教育課長、
祝学校教育課長補佐、髙﨑学校教育課班長　　計４名

議　　題　　⑴　統合中学校整備事業について
⑵　統合中学校あり方検討委員会報告書（案）について
⑶　開校準備委員会での検討内容について

議事録（概要）

１．開会

２．議題

⑴　統合中学校整備事業について

事務局説明 （学校教育課長）	**資料　第１０回資料１、第１０回資料２** 資料１は、統合中学校の開校時期を令和１０年４月から令和１１年４月に変更させていただいた。理由は変更経緯にあるが、令和６年９月市議会定例会において、室戸高等学校との共用について再度検討すべきであるとの理由から統合中学校関連予算が削除されたことに伴い、事業が一時休止となっていた。 その後、高知県教育委員会等との協議の結果、室戸高等学校内に置いての共用は難しく、統合中学校の建設に向け、引き続き取り組むこととなった。 令和７年度の当初予算では、統合中学校建設に係る工事車両の通行に必要な作業道路の設置工事費 3,849 万円、学校施設及び進入道路等に必要な用地の取得費 1 億 5,000 万円など関連予算が議決を受け、統

	合中学校整備に向け取り組んできたが、本年３月末に完了した統合中学校整備事業要求水準書等作成支援委託業務において、建設業の完全週休２日制の導入などから、設計、施工において当初の想定よりも工期を要することが示されたこと、室戸高校の再協議に時間を要したことにより土地の境界立会等が遅れたことから、その後の用地測量や造成設計、不動産鑑定業務、要求水準書等作成支援委託業務に遅れが生じ、当初の予定である令和１０年４月の開校が不可能であると判断した。 　新中学校の開校は令和１１年４月とし、教育委員、あり方検討委員会委員の皆様、保護者には保護者連絡システム（すぐーる）にて報告させていただいた。 　（３）に今後のスケジュールを示しているが、本体工事が令和８年１２月に着工するなど順調に進捗したとしても準備期間が今の段階でなんとか６か月とれる予定。入札の不調や土地の売買契約の話が進まなかった場合、議会で再び賛同得られないことなどにより、再度開校時期を延長せざるを得ない可能性もあるが、担当課としては、令和１１年４月１日開校に向け、全力で取り組んでいく。 　令和 10 年を想定しておられた保護者の皆様や学校関係者、本委員会の委員の皆様など、多くの方々にご迷惑をおかけし、申し訳なく思っていますが、ご理解と引き続きの協力をお願いしたい。
委員長	資料１の課長からの説明について、質問や意見はないか。
委員	土地の売買はどのような状況か。
事務局	議員の皆さんから土地の売買契約については、承諾を得た後で、造成工事にも、設計施工の工事費についても、議決を得るようにと議員説明会で話があった。室戸市としては、現在のところ、まだ契約書等は締結していないが、一定賛同はいただいているとの認識をして、現在作業を進めているところである。
委員	相続等でなかなか名義変更が難しかったり聞くが、そうしたら、来年１２月の造成工事には間に合わないかもしれないって、ことか。それなら、なおさら延期になってしまうってことか。
事務局	基本的には同意はいただいているので、予定通りに行けばこのスケジュールで行くかが、金額を提示するので、その辺りで交渉がうまくいかない可能性もあるということで言わせていただいた。

委員長	作業道路も買収しているのか。
事務局	作業道路については、賃貸借契約なので購入は予定していない。
委員長	それも了解はいただいているのか。
事務局	はい。
委員	遅れる可能性はでてくるということですよね。
委員長	そうならないように、鋭意努力ください。心配事項の一つとして提起されたが、他にないか。
委員	なし。
事務局説明 （学校教育班長）	資料２平面図案について、修正をさせていただいた。今日追加で配布した修正前後の比較資料を見ていただきたい。 大きく変わったところとして、物価、建築資材の高騰によって建築費用が上昇していることも踏まえ、面積を削る必要がでてきた。削った箇所は、多目的ホール（フリースペース)、図書室にあるPCコーナー、教室配置の変更や面積を一部小さくした。当初は、間仕切りを利用して、将来的に１教室になった場合、一つの教室として大きく使用できるよう工夫した。議会等からも、生徒数が減少した時、こんなに大きな学校いらないのではとの意見もあり、２階部分に外階段をつけて、教室の余りが出た場合、貸し出せるようにとも考えている。多目的教室やトイレも出入口に寄せたかたちで配置を見直した。 これはあくまでも案で、これを想定した事業費で公募はするが、業者からどのような提案がでてくるかは、これからになることは了承いただきたい。
委員長	教室は、当初40人学級を想定した面積を確保しているのか。
事務局	今は、35人になっているが、施設整備の基準の上限である74㎡で予定していたが、統合後１クラス多いところで50人程度となり、２クラスに分かれても30人弱のため、将来的に２教室の間の壁を外して、大きい教室にするよう、教室の面積を少し減らした。廊下も当初ゆったり4mくらいを想定していたが2.7mに減らしている。図面で比較すると小さく見えるが、全体的に出来上がればそれほど気にならないレベルと考えている。階段も１カ所減らしている。
委員長	予算面での制限もあって、多少の変更があるようだが、意見があればいただきたい。
事務局	設計の段階で面積を削らないと発注する限度額があるので、その限度額内で業者がもうちょっとゆったりしたスペース作れるというので

	あれば、ぜひ提案いただきたいと思っている。
委員長	努力もしていただけるということだが、特に注文等はないか。
委員	なし。

⑵ 統合中学校あり方検討委員会報告書（案）について

事務局説明 （学校教育課長補佐）	**資料　【報告書（案）】** **【統合中学校開校に向けたアンケート集計結果】** 昨年５月から検討いただいた内容の報告書をまとめたもの。４ページ目以降にこれまで承認いただいた内容を載せているが、承認いただいた内容を一部見直した箇所がある。 ４ページ目の検討結果の部分、当初は【最終的に統合時の校長にけっていただくことが適当】としていたが、昨年安芸中学校を視察した際、安芸中学校では統合の１年前から統合を見据えて学校の経営方針は統一していたとのお話を伺い、室戸市においても統合時に決定するのではなく、【前年度から学校経営方針を統一するなど、スムーズな統合に向けて事前対応いただくことが適当】と見直しさせていただいたので、確認をお願いしたい。 その他、大きな変更点はない。 19 ページから 24 ページまでは、前回（第９回）いただいた議題の部分となる。 室戸高校との連携は 20 ページに意見をまとめており、それらを踏まえた検討結果を 19 ページに記載している。内容としては、「生徒会の交流をはじめ、授業や行事、部活動等を見据えて、事前に計画を立てたうえで、可能な範囲から取り組んでいただき、統合中学校と室戸高等学校相互が他の学校にはない魅力ある学校となるよう連携を進めていただきたい」としている。 22 ページは統合前の中学校の歴史、伝統及び文化の継承について、皆さんからの意見をまとめたもの。それらを踏まえた検討結果として 21 ページに記載している。「歴史、伝統及び文化がどのように継承できるか等を検討いただきたい。また、統合においてもそれぞれの地域を知ることは大変重要であるため、総合的な学習等を活用して、各地域の歴史、伝統や文化を相互理解できるよう取り組んでいただくとともに、学校運営協議会等地域の方の意見も取り入れることができるような体制を確保いただきたい」とまとめています。

	24 ページに統合後の地域への支援、学校跡地の活用についての意見をまとめている。それらを踏まえた検討結果として、23 ページに記載している。「統合後の地域への支援として、地域とのつながりをどのように維持するか、学校運営協議会等を活用して検討いただきたい。また、学校跡地の活用については、4 小中学校は津波浸水区域に位置することから、活用方法も限定されるかもしれないが、地域からの意見を取り入れるとともに有効活用いただきたい。」とまとめている。 これまでの議題に対する報告案としては以上。
委員長	6～8 の報告内容について、ご意見や付け足し等はないか。
委員	19 ページの検討結果の部分、生徒会の交流をはじめ、授業や行事、部活動等を見据えて、事前に計画を立てたうえで、可能な範囲から室戸高校と連携するとあるが、これは、室中は距離も近くて、計画もすぐ立てられると思うが、佐喜浜、羽根、吉良川中学校に関しても動いていただけるのか。室戸だけやっても仕方ないと思うがどうか。
事務局	統合を見据えての連携なので、4 中学校が交流できるように、事前に協議もして計画も立てていけたらと思っている。
委員長	日程調整は各校、移動のためのバス等予算面は委員会となると思う。 その他、ご意見等はないか。
委員	なし
委員長	6～8 は、この内容でよろしいか。
委員	異議なし。
委員長	次に、報告書案全体の内容について、ご意見や付け足し等はないか。
委員	なし。
委員長	報告書案の内容については、この内容で承認いただいたので、報告書案の案を削除し、報告書としたいと思うがよいか。
委員	異議なし。

(3) 開校準備委員会での検討内容について

事務局説明 （学校教育課長補佐）	**資料　【報告書（案）】P.25** あり方検討委員会で皆さんにいただいた意見を基に、開校準備委員会での検討内容を示している。開校準備委員会は、本年度の秋ごろからの設置を予定しており、その後開校予定の令和１１年度までの間、具体的な検討を進めていくことになる。この内容は、現時点での案と

	なりますが、これらの他、統合に向けて検討が必要なことがあれば、ご意見をいただきたい。
グループ内意見交換（10 分間）	
意見発表	
2 班	事前交流に関しては、開校準備委員会が始まって検討していたら間に合わないので、今すぐにでも始めてもらいたい。ここだけは、別でやってもらうことはできないか。
事務局	各学校とも共有しながら、可能な範囲で交流できたらと思っている。
3 班	開校準備委員会の議題の項目はハード的なことが多いが、子どもたちの心などのソフト面の準備も重要。制服、校舎等だけではなく、携わる準備の段階でどういう交流をするか等もっと話を詰められたらいいと思った。
委員長	生徒間の交流を通じて安心をして学校に通える準備が必要だということだと思う。
4 班	項目としては全部網羅しており、これ以上はないという話になった。この会議に参加して思ったが、今後も市民が統合中学校の状況について知るために、広報見たり、近い人に聞いたりすると思うが、その方法が良い方法なのか。皆が、どのような場で交流しているのか、一市民としての素朴な疑問として、どのように情報収集すればいいのか教えていただきたい。
委員長	ここで話した内容は、自分達委員の資料ですが、閉じ込めるものではなく、広めて構わないですよね。
事務局	はい。ホームページにも載せている。
委員長	では、開校準備委員会ももちろん情報公開しますよね。
事務局	ホームページ、広報等でも定期的にお知らせしていく予定。
委員	自分で質問しながら整理できたが、身近な人に聞いたり、交流の場で、このような話をしていくことで、自分たちの子どもも自分がこうあって欲しいという学校ができたり、その元になっていることが分かり、大変勉強になった。
5 班	検討内容については、こういった内容を検討していくだろうと思うが、２班からも出ていたように、生徒の交流、職員の合同職員会をどのように入れていくかを考えた。開校準備委員会がどのようなメンバーで進んでいくか分からないが、例えば、開校準備委員会のメンバーだけではなく、今度は子どもたちの意見をどんどん聞いてあげて欲し

	い。自分たちの新しい学校としてわくわくできるような。どんな制服にするとか、どんな校章がえいとかどんどん意見が欲しいし、学校の先生方の意見も広く聞けるような開校準備委員会になったら良いとイメージしている。
委員長	前段でアンケートは取っているが、いよいよこれが開校となると、制服どうするなど、改めてアンケートも必要になり、そんな時間も必要となる。 全体で何か意見はないか。
委員	おそらく今の中学生は、統合中学校開校時は全員卒業して、高校や大学等に進学していると思うが、今の中学生にも、例えば校則などどんどん出してあげて欲しいと思う。自分たちも統合に関わったという思いをさせてあげたいので、新しい中学生、小学生だけではなく、文化を残すというような思いで中学生に聞いてあげて欲しい。
委員長	令和 11 年に開校となると、令和 10 年度にそれぞれ 4 校の中学生、小学生への説明会を開くと思う。具体的には、制服、体操着、靴などそこにイメージを持ってもらわないといけないので、令和 9 年度には、それぞれ決まっていないといけない。具体的目標をもって、具体的なイメージができて初めて、保護者、地域、小中学生もそうかと思う。そうなると、スケジュールも大変厳しいと思う。開校準備委員会の方々はご苦労だと思う。それに加えて、今からでも子ども達にも働きかけて色々な情報をもらうとなると、悠長できなくて、早々から忙しい時間になると思う。ご苦労だと思うが、よろしくお願いしたい。 それでは、様々な意見をいただいたので、これらを含めた最終報告書を作成いただきたいと思う。 最終的な市長への報告書内容につきましては、私と事務局に一任させていただきたいと思うが、よろしいか。
委員	異議なし。
委員長	事務局と日程調整をさせていただき、私から市長に報告をさせていただくこととする。併せて、最終報告書は事務局から委員の皆様に送付させていただく。 昨年５月より全１０回、委員の皆様にご審議いただき、以上を持ってあり方検討委員会審議の全てが終了となった。長期にわたりご協力いただきありがとうございました。

終了